

情報通信研究機構 (NICT) の研究者による研究

【研究内容】

音声・言語処理技術を開発し、日本語、英語、中国語に対するシソーラスを含み、対訳や多様な意味的關係を含む多言語概念辞書を構築し、多言語翻訳、音声翻訳技術、対話システム技術の研究開発を実施。また、日本人特有の発話英語を対象とした発話英語データベース(学習者発話コーパス)を構築。

【研究成果】

- ◆ 旅行会話を対象にした日英中音声翻訳システムの開発。
- ◆ 世界初の旅行会話を対象にした多言語テキスト翻訳技術の開発(18x17言語対)。
- ◆ 世界初で最大規模の学習者発話コーパスを作成。
- ◆ 英語学習者を対象とした話し言葉の学習支援システムを構築。
- ◆ Webから自動抽出した最新の日本語版辞書は、現在約170万語(広辞苑の6倍以上)をカバー。

【社会への適用】

- ◆ 携帯電話におけるテキスト翻訳サービス及び音声翻訳サービスとして、民間企業による事業化を実現。
- ◆ 場面と場所を特定し、語彙を限定することにより、翻訳精度及び処理速度を向上させる技術を試作し、北京五輪において音声翻訳モニター実証実験を実施。

レシピ検索(βバージョン)

作成した辞書でブログからレシピを抽出Webから抽出した様々な調理のヒントを提示



しゃべって翻訳

和英／英和／日中／中日の翻訳が可能
例えば日本語で話しかけると英文で表示され、
英語で話しかけると日本語で表示。
NTTドコモ905i、906i、705i、706iシリーズ

音声翻訳端末



音声翻訳端末
(市販の小型PC)

(翻訳ソフト画面)



携帯電話端末